

# ムダづかいやめて、福祉、くらし、教育に



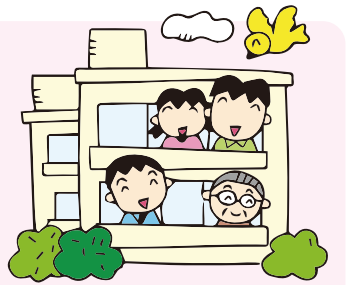
路木ダム

## 94億円のムダづかい 路木ダム(天草) 熊本地裁が「違法」判決

松岡徹県議が、一般質問などで、治水、利水ともに必要なし、加えて羊角湾などの環境をこわすと厳しき追及してきた路木ダム(天草市)について、熊本地裁は、2月28日、「昭和57年7月豪雨によって、路木川の堤防決壊や路木集落における家屋の浸水被害は発生しなかったことは明らか。県知事には、最も重要な考慮要素の1つについて重大な事実誤認があった。県知事の裁量権の範囲を逸脱し又はこれを濫用したものとして違法」との判決を下しました。

### 真実と事実を覆(くつがえ)してはならない

熊本地裁判決に対して、蒲島知事が控訴したことに對して、松岡徹県議は、「熊本地裁判決が、路木ダム治水計画が、『重要な事実の基礎を欠くもの』として判断を下した点が重要であり、熊本県も当然これに従うべき。政治が、権力と財力、人力、物量で、真実と事実を覆す行為ほど怖く、危険なものはない。熊本県がその道を進んではならない」と厳しく批判しました。



## 子ども医療費、少人数学級、住宅リフォーム補助を

くらし・福祉を  
予算の主役に

### 平成25年度住宅リフォーム等助成事業

市町村	予算額	助成件数
八代市	50,000千円	35件
水俣市	30,000千円	20件
玉名市	5,000千円	10件
天草市	20,000千円	120件
山鹿市	5,000千円	20件
上天草市	5,000千円	30件
多良木町	10,000千円	50件
人吉市	10,000千円	50件
宇土市	10,000千円	50件
長洲町	3,000千円	30件
南小国町	3,000千円	75件
氷川町	15,000千円	25件
あさぎり町	15,000千円	75件
菊池市	8,750千円	50件
小国町	500千円	5件
錦町	5,000千円	25件
球磨村	4,000千円	20件

2013年5月現在

**特養ホームの待機者7440人**  
**子ども医療費・少人数学級は全国最低**  
違法でムダな路木ダムに94億円、今後どれだけ県費を食うかわからない立野ダムにお金を使うのではなく、待機者が7440人もなる特別養護老人ホーム対策、介護保険料・利用料軽減、全国最低の子ども医療費無料・少人数学級拡充をはかるべきです。

### 住宅リフォーム補助 市町村に学んで、県も急いで実施を

立野ダムには、来年度当初予算だけで6億2千7百万円もつぎ込みながら、建設業者、県民がのぞむ住宅リフォーム補助制度には背を向けています。

市町村は、財政がきついなかでも、「地域の活性化のため」「仕事と雇用を増やすため」バリアフリー、断熱・耐震対策のため」と、17市町村が住宅リフォーム補助制度をつくっています(表をご覧ください)。

県の補助ができれば、市町村でもさらに広がり、仕事と雇用も大きく広がり、県経済も元気になります。

大雪被害

# 倒壊ハウスの撤去費用は、農家負担ゼロに

## 阿蘇市波野の被災地を調査

2月13日～19日にかけての大雪被害は、県内で約6億8600万円（3月31日現在）。国の補助率が3割から5割に増え、県と市町村の補助を加えると倒壊ハウス撤去費用については、被害農家負担はゼロに。再建・修繕については、国5割、県2割の補助となります。

日本共産党は、2月16日、志位和夫委員長を本部長に「大雪対策本部」を設置、政府に▽農業被害の全体像を総力あげて把握すること▽従来の枠にとられない、農業再開のためのあらゆる支援を講じることなど、緊急要請、政府の「雪害対策」強化を促しました。松岡徹県議は、阿蘇市波野の被災地調査を行いました。



阿蘇市波野の被災地を調査・松岡徹県議

来年度から

## 特別支援学級、教員加配、一部改善へ

特別支援学級の場合、熊本県は1学級5人の児童生徒に1人の教員を加配していました。ところが、昨年6月から1人に減らしてしまいました。

松岡徹県議は、「特別支援学級においては、担任の先生の見守りが必要不可欠です。児童が落ちついて個々のペースで能力を伸ばす、安全を確保するためには、担任1人に対して児童4人が限界だと思えます。支援学級の担任の増員をお願いいたします」

とお母さんの手紙を紹介し、「教員の加配をもとに戻すべき」と繰り返し求めてきました。

2・3月県議会で、教育長は、自民党議員の質問に対して、「1つの支援学級のなかに他学年の児童生徒が在籍するなど、特に指導が困難な学級を有する学校については、県独自で教員を配置する」と答弁しました。

松岡徹県議談「父母、学校現場の声に添えて一部改善することになったのは、昨年来この問題をとりあげてきた私にとっても喜ばしい。引き続き、昨年度以前に戻すべきであり、そのためにがんばりたい」



## 安倍政権の暴走に対決 消費税増税前提の県予算に反対

松岡徹県議は、「消費税の増税は、国民に8兆円もの負担を押し付け、景気をさらに冷え込ませる最悪の景気破壊税です。安倍内閣は、『景気の好循環』を言うなら、消費税増税中止宣言を発すべき」と訴え、「増税前提の県予算」に反対しました。

## 「政府の『解釈改憲』による『集団的自衛権』行使の計画中止を求める意見書」提出

民主県民クラブ鬼海洋議員、新社会党岩中伸司議員と共同で意見書を提出。提出者説明を行いました。そのなかで、安倍首相が「海外で戦争する国」づくりを狙う集団的自衛権の行使容認のための解釈改憲に対して、「歴代政権が『憲法上行使できない』としてきたものを、政府の憲法解釈を変えるだけで容認しようということは、憲法の平和原則に背くだけでなく、憲法や法律にもとづいて政治をおこなう『法治主義』まで否定してしまうもの」と厳しく批判しました。

## 「国会に憲法改正の早期実現を求める意見書」に反対討論。

松岡徹県議は、「憲法9条2項を変えて、『国防軍』をつくることは、たんに自衛隊の名称変更ではなく、日本が『海外で戦争をする国』に変えられてしまうことになり、『NHKの朝のドラマ』『ごちそうさん』で描かれたような悲惨な時代に日本を逆戻りさせることにほかならない」と強調、「米軍とともに戦争ができるようになるために、憲法の解釈を変えることにも、憲法9条を変えようとする『明文改憲』にも強く反対する」と訴えました。意見書には、共産党、民主県民クラブ、新社会党が反対、公明党棄権、自民党・改革クラブなどが賛成、賛成多数で採択。



壇上から